

# 全公教佐賀大会第6回運営委員会

令和2年10月13日(火) 14:00～

グランデはがくれ フラワーホール

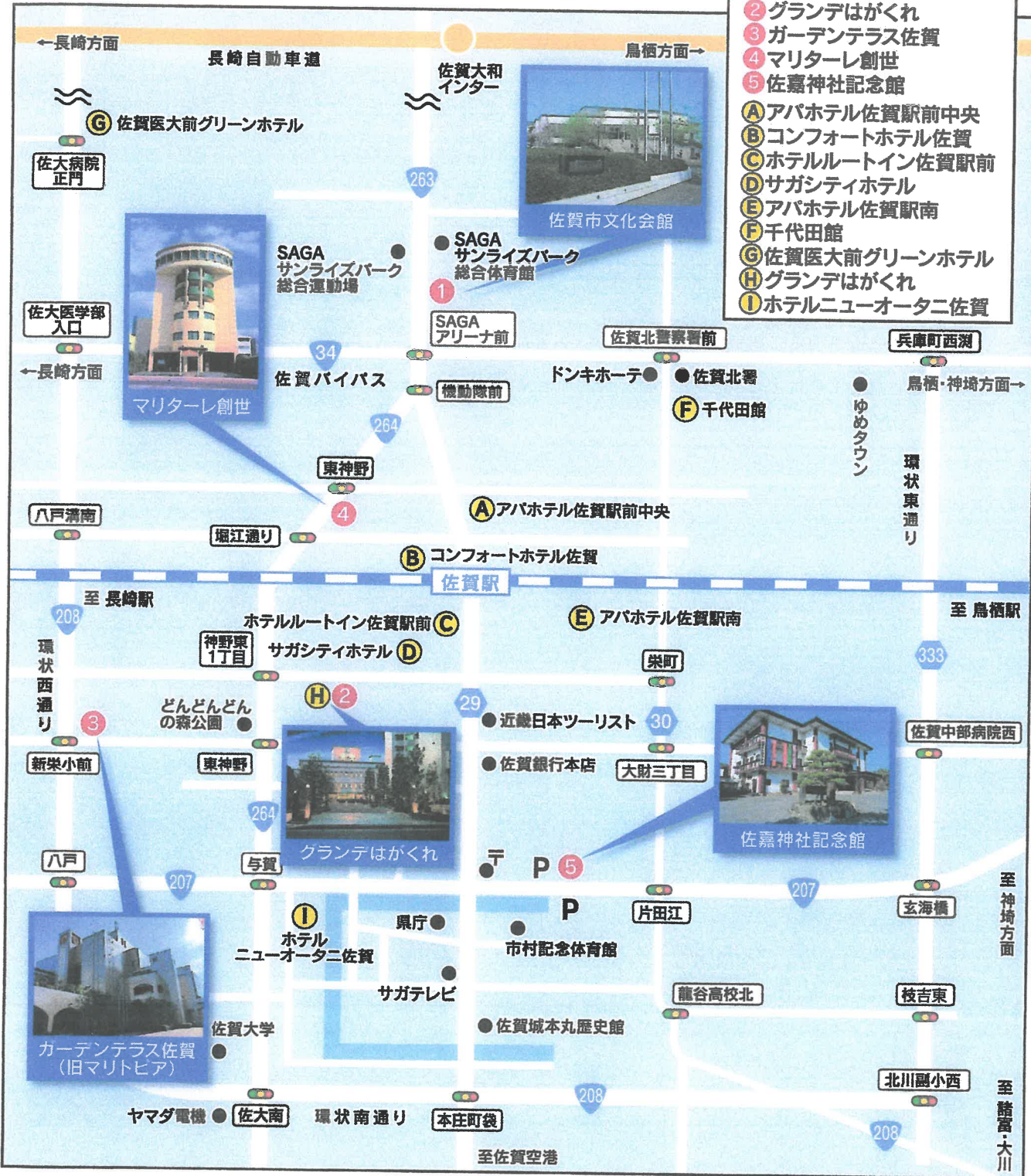
進行(吉田副委員長)

- 1 開会(岩崎副委員長)
- 2 挨拶(小川実行委員長)
- 3 提案・協議
  - (1) 全公教役員会(10/2)報告(小川実行委員長より)
  - (2) 全公教研究部会(10/9)報告(山口研究部長より)
  - (3) 各部・各班の進捗状況(大会事務局長・各班長より)
  - (4) 各班からの質問等について(大会事務局次長・各班長より)
  - (5) 今後の業務進行計画について(事務局より)
  - (6) 提言者研修会について(事務局より)
  - (7) 岡山県との引継会について(事務局より)
  - (8) その他
- 4 大会事務局等より連絡
  - ① 後援申請について
  - ② 第1次ご案内についての完成版について(10月中には本部及び各都道府県に送付)
  - ③ 会場及び宿泊施設マップについて
  - ④ 参加要請数の変更(各都道府県への参加要請者数)について(本部より指示あり 10/2)
  - ⑤ 9月以降の佐賀大会業務スケジュール改訂版1
  - ⑥ 次回運営委員会
    - ・第7回運営委員会 11月17日(火) 15:00～ 県婦人会館2F第2研修室
    - ・第8回運営委員会(拡大)  
12月25日(金) 14:00～
- 5 閉会(西村副委員長)

# 会場および宿泊施設ご案内 MAP

## 大会会場/メインホテル

- ① 佐賀市文化会館
- ② グランデはかくれ
- ③ ガーデンテラス佐賀
- ④ マリターレ創世
- ⑤ 佐嘉神社記念館
- Ⓐ アパホテル佐賀駅前中央
- Ⓑ コンフォートホテル佐賀
- Ⓒ ホテルルートイン佐賀駅前
- Ⓓ サガシティホテル
- Ⓔ アパホテル佐賀駅南
- Ⓕ 千代田館
- Ⓖ 佐賀医大前グリーンホテル
- Ⓗ グランデはかくれ
- Ⓘ ホテルニューオータニ佐賀





全国公立学校教頭会研究大会佐賀大会 参加要請数案 令和2年4月17日

code	都道府県名	会員数	参加要請数	割合	1A	1B	2	3	4	5A	5B	6	特別I	特別II	
1	北海道	1542	93	6%	6	6	6	5	28	4	5	11	15	7	93
2	青森	425	25	6%	2	2	2	3	3	3	2	3	3	2	25
3	岩手	449	44	10%	3	3	3	3	3	18	3	3	3	2	44
4	宮城	596	35	6%	3	3	3	3	6	3	4	4	4	2	35
5	秋田	308	18	6%	1	1	2	2	3	2	2	2	2	1	18
6	山形	337	20	6%	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
7	福島	627	38	6%	3	3	3	3	6	4	3	4	5	4	38
8	茨城	770	46	6%	4	4	5	4	6	3	4	5	7	4	46
9	栃木	520	31	6%	3	3	3	2	3	3	3	4	4	3	31
10	群馬	476	28	6%	2	2	3	2	3	3	2	4	4	3	28
11	埼玉	1273	76	6%	7	7	7	5	8	5	7	8	15	7	76
12	千葉	1193	71	6%	6	7	6	5	7	5	7	10	11	7	71
13	東京小	1313	78	6%	7	8	5	5	8	5	7	12	14	7	78
13	東京中	621	37	6%	3	3	3	4	6	3	4	4	4	3	37
14	神奈川小	857	51	6%	15	3	3	3	7	4	4	4	4	4	51
14	神奈川中	413	24	6%	2	2	3	3	3	2	2	3	2	2	24
15	山梨	269	16	6%	2	1	1	1	2	1	2	2	2	2	16
16	新潟	689	41	6%	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	41
17	長野	2	2	100%	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
18	静岡	765	45	6%	5	4	5	4	5	4	4	5	5	4	45
19	富山	282	16	6%	1	1	2	2	2	2	1	2	1	2	16
20	石川	285	28	10%	3	3	3	2	3	3	3	3	2	3	28
21	福井	260	15	6%	1	6	1	1	1	1	1	1	1	1	15
22	愛知	1007	60	6%	5	5	5	4	9	4	6	7	9	6	60
22	名古屋市	382	22	6%	2	2	2	2	3	2	2	2	3	2	22
23	岐阜	605	35	6%	3	3	3	3	4	3	4	5	5	2	35
24	三重	511	30	6%	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
25	滋賀	340	20	6%	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
26	京都	552	33	6%	2	2	15	2	2	2	2	2	2	2	33
27	大阪	1451	87	6%	5	8	8	5	9	5	8	12	18	9	87
28	兵庫	861	51	6%	5	5	4	4	7	4	5	5	6	6	51
28	神戸小	168	10	6%	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
28	神戸中	93	5	6%	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	5
29	奈良	292	17	6%	1	2	2	2	2	1	1	2	2	2	17
30	和歌山	342	20	6%	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
31	鳥取	186	11	6%	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	11
32	島根	297	17	6%	1	1	2	2	2	1	2	2	2	2	17
33	岡山	595	35	6%	3	3	3	3	6	3	3	4	5	2	35
34	広島	712	0	0%											0
35	山口	471	28	6%	2	2	2	2	5	3	2	5	3	2	28
36	徳島	296	17	6%	1	1	2	1	3	2	1	2	3	1	17
37	香川	302	18	6%	1	1	1	2	4	2	1	3	2	1	18
38	愛媛	385	23	6%	2	2	2	2	2	2	2	3	4	2	23
39	高知	305	18	6%	2	2	1	1	1	1	7	1	1	1	18
40	福岡小	750	150	20%	13	13	10	10	13	10	10	28	31	12	150
40	福岡中	351	70	20%	25	7	6	5	5	3	4	5	7	3	70
41	佐賀	268	268	100%	20	20	33	34	33	20	33	20	35	20	268
42	長崎	508	101	20%	6	5	8	6	9	24	6	19	13	5	101
43	熊本	517	103	20%	7	9	28	6	8	7	6	14	12	6	103
44	大分	378	75	20%	7	7	7	6	8	8	5	10	12	5	75
45	宮崎	363	72	20%	5	5	5	5	28	3	3	6	9	3	72
46	鹿児島	701	140	20%	6	15	9	28	12	6	10	15	27	12	140
47	沖縄	369	73	20%	8	22	6	6	6	5	6	4	6	4	73
	九州B小計	4205	1052		97	103	112	106	122	86	83	121	152	70	1052
合計	0	28630	2487		228	231	248	219	309	214	215	286	341	196	2487

## 令和2年度9月以降の佐賀大会業務スケジュール

R2.10.6 現在

準備事項	提出先	期限	担当部・班
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会日程案</li> <li>・各都道府県参加要請数案</li> <li>・予算の修正案</li> </ul>	本部理事会(9/11)に提出し、検討	9月10日まで	・事務局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次案内</li> <li>・提言者研修会案</li> </ul>	本部役員会(10/2)に提出し、検討	9月25日まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次案内作成班</li> <li>・提言者研修運営要項作成班</li> <li>・研究部企画班</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言者研修会指導助言者一覧</li> </ul>	本部役員会(11/2)に提出し、検討	10月24日まで	・事務局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各都道府県参加要請数一覧提出</li> </ul>	本部理事会(10/6)に提出	11月27日まで	・事務局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次案内案</li> <li>・シンポジウム案</li> </ul>	本部役員会(1/6)に提出し、検討	12月25日まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次案内作成班</li> <li>・シンポジウム班</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算案中間報告</li> <li>・第2次案内</li> </ul>	本部理事会(3/5)に提出	2月26日まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計部</li> <li>・第2次案内作成班</li> </ul>

## 研究大会連絡会（引継会）におけるお願いしたい資料やお尋ねしたいこと

### 1 資料等について

- ・ 提言者研修会関係の資料やデータ
- ・ 3月31日までの業務スケジュールや発送文書
- ・ 大会運営要項案のデータ（作成されていれば）
- ・ 大会要項・資料集のデータやその作成に係るデータ（佐賀大会も中止が考えられる）
- ・ 修正された予算案や決算
- ・ 3年間の様々なデータ

### 2 お尋ねしたいこと

- ・ 第12期の1年次として、滋賀大会から引き継がれた成果と課題をどのように受け止め、岡山大会ではどのような成果を期待されていたか。（佐賀県は研究の2年目として大会に臨むため）
- ・ 大会中止により作成された大会要項や資料集に係る困難点や課題等
- ・ 大会予算の修正に伴う課題および決算処理のやり方
- ・ 教育懇談会の計画案と進め方について

## 岡山県との引継会行程表（日帰り）

### ○ 往き

佐賀駅：8：46発 かもめ6号

↓

博多駅：(9：23着)

9：47発 のぞみ5号

↓

岡山駅：11：30着

### ○ 帰り

岡山駅：17：48発 のぞみ41号

↓

博多駅：(19：30着)

19：55発 かもめ43号

↓

佐賀駅：20：36着

## 岡山県との研究大会連絡会（引継会）参加者（予定）

令和2年11月6日（金）13:00～16:00

氏名	役職名	学校名
小川裕子	実行委員長	佐賀市立日新小学校
吉田寿之	実行副委員長	基山町立基山中学校
岩崎達義	実行副委員長	佐賀市立東与賀小学校
西村清美	実行副委員長	小城市立三日月小学校
日吉政治	大会事務局長	東原彦舎西溪校
福田泰司	大会事務局次長	神崎市立千代田中学校
小柳英樹	総務部長	白石町立六角小学校
山口賢次	研究部長	佐賀市立思斉小学校
中山孝史	研究副部長	鳥栖市立鳥栖中学校
千北昌子	広報部長	東原彦舎東部校
西山恵美	会計部長	佐賀市立鍋島小学校
草場聡宏	顧問	西九州大学准教授
貞包弘章	教頭会事務局長	
南川雪子	教頭会事務局員	

# 岡山大会提言者研修会を終えての気づき等

2020/01/21

○令和3年1月16日（土）開催の提言者研修会に向けた原稿等の〆切日を設定する。

- ・令和2年11月27日：原稿提出〆切
- ・令和2年12月初旬：事務局で原稿印刷開始
- ・令和3年12月末：提言者研修会原稿印刷完了、全公教と顧問会に提出
- ・令和2年11月末：提言者研修会要項原稿締め切り
- ・令和2年12月初旬：提言者研修会要項業者渡し
- ・令和2年12月末：提言者研修会要項業者納入
- ・提言者原稿及び提言者研修会要項の印刷部数：150部

○佐賀大会発表者の確認

- ・異動に伴って発表予定者の変更有⇒発表者か発表校？年度当初に協議？

○提言原稿作成上の視点の確認

- ・3C（継続性・協調性・関与性）の記述
- ・具体的な取組内容⇒成果と課題との整合性
- ・佐賀大会サブテーマの視点と主題設定理由のつながり
- ・提案性：参加者が共感し、自らの地域とつなげたり、課題意識を持ったりすることのできる  
提言になっているか

○佐賀大会サブテーマ設定理由の図式化

○特別分科会Ⅱの提言内容の決定

キーワードから連想してみました

- ・ICT利活用から連想されること

小一中連携	小一小連携			
保護者の協力	学校間の連携	予算	利便性	
反転学習	授業での活用例	ICT利活用	職員研修	意識の変容
成果と課題	地域との連携	管理の仕方		
		学校と家庭		



・若手教員育成から連想されること

		OJT		
校内研究	集団育成功	中堅教員育成	学年主任会	
自主研修	教科指導力	若手教員育成	意識改革	働き方改革
センター研修	報・連・相	連携		
事務所主催研修会		横のつながり	縦のつながり	

○分科会の「協議の柱」の決め方

- ・協議に柱については、各提言者に提出してもらうが、研究部でも事前に案を作成し、提言者研修会で吟味した上で決定する。

例「・・・のための教頭の役割」、「・・・に向けた教頭の関わり方」などグループ討議の論点として分かりやすく、討議が深まる柱にする。

- ・佐賀大会の場合は、グループの司会は九州各県にお願いするしかないので、グループ協議の進め方や協議の柱を早めに決定し、事務連絡や大会のホームページを活用し、周知を図ることが肝要である。

## 全公教研究大会提言者研修会において分かったことと佐賀大会への検討事項

日時：平成31年1月19日（土）13：00～

会場：滋賀県大津市びわ湖プリンスホテル

### ◎ 提言者研修会について

○開催の目的は、大会当日の分科会を深化・充実させるため、半年前に分科会に関わる一同が会して、分科会の進め方、提言要項、使用機器などについて理解を深めること。また、提言資料の内容や構成について吟味、検討し、最終提出までにより良い原稿に修正を行うこととする。

○提言者研修会要項と冊子入れ袋を作成、印刷、配布する。

○提言者研修会の旅費・宿泊費については、全公教本部関係者（会長以下役員と事務局員）は全公教で負担する。分科会に関わる参加者の分は、当該県の大会予算で計上し、支出する。

○大会実行委員長は、必要に応じて大会の進捗状況や依頼事項、検討事項などを説明するために全公教理事会に参加する。また、研究部長及び研究副部長は、前年度12月からの全公教研究部長会にオブザーバーとして参加する。（どちらも本部の事前承認を得ること）

○開催曜日については、課業日開催だと提言者等の中には学校を2～3日留守にしなければならない状況が出てくる。（1日目提言者研修会を終日開催。2日目研究部会を半日開催。）そのため、休業日（土日開催）開催か、もしくは課業日～休業日開催とする。（金・土開催）全公教本部と事前に協議をして決定する必要がある。

○会場については、100名程度が収容できる場所が必要である。前半は全体会を行い、後半は分科会ごとに分かれて協議会を行うため、配置を工夫する必要がある。また、分科会ごとの協議では、パソコンを使って提言者がプレゼンを行うため、パソコンとプロジェクター、スクリーンを7台用意すること。佐賀においては、グランデはがくれ「フラワーホール」か創世「グランデピアツァ」で開催する。

○会場には本部テーブルと実行委員会テーブル及び時期開催県等の視察テーブルを準備すること。

○控室として、本部及び提言者控室と実行委員会関係者控室を準備すること。グランデはがくれ「シンフォニーホールA及びB」か創世「コングレーシオ」

○分科会の進め方については、大会当日の分科会に即して、時間配分及び進め方メモを準備し、リハーサル的に行うこと。

○提言における使用機器については、この研修会において使用する映像機材の内容や性能について示すこと。

○会場には、前面に研修会の横断幕を掲載すること。

○昼食については、事前に希望をとり、お茶付きの弁当を準備する。また、会議開始前

事務連絡

令和2年9月29日

副校長先生

全公教佐賀大会実行委員会

実行委員長 小川裕子

(公印省略)

令和3年度 全国公立学校教頭会研究大会佐賀大会に係るお願いについて

涼秋の候、皆様には日々業務にご精励のことと思います。

さて、すでにお聞き及びのこととは思いますが、標記大会を令和3年度8月3日から5日までの3日間、佐賀市で開催します。

つきましては、副校長先生には大変ご多用とは存じますが、別紙に記載していますように、大会2日目(8月4日)の分科会において、各分科会での司会を担当していただくことになります。

現在、大会実行委員会で着々と準備を進めているところです。詳細につきましては、今後、分科会企画班長や各分科会運営代表等から連絡やお願いがあると思いますが、どうかよろしく願いいたします。

なお、年明けの令和3年1月16日(土)の午後には、本大会のための提言者研修会を佐賀市の「マリターレ創世」にて開催する予定です。この会議は、全公教本部役員をはじめ、各分科会ごとに提言者、司会者、運営責任者等、80名を超える方々が参集し、8月の本大会での分科会に向けて、本番さながらにプレゼンを行うなどして、研鑽を図る場として設定します。現在、担当班で提言者研修会の企画立案を行っているところです。

皆様におかれましては、大変ご多用とは存じますが、佐賀大会に向けての提言者研修会に参加していただくこととなりますので、ご出席の予定をよろしくお願いいたします。

佐賀県で初めての教頭会全国大会の開催ですので、副校長先生方のお力も大いに発揮していただき、すばらしい大会となるよう佐賀県公立学校教頭会会員一同で取り組んでいきたいと思っております。

皆様のご健勝を祈念して、お願いのご挨拶といたします。

## 佐賀県小中学校校長会

差出人: 佐賀県小中学校校長会 <kouchoukai@wing.ocn.ne.jp>  
送信日時: 2020年10月7日水曜日 14:56  
宛先: ogawa-yuko@education.saga.jp; yamaguchi-kenji@education.saga.jp;  
iwasaki-tatsuyoshi@education.saga.jp; nishimura-kiyomi@education.saga.jp;  
yoshida-toshiyuki@education.saga.jp; fukuda-hiroshi@education.saga.jp;  
hiyoshi-masaharu@education.saga.jp  
件名: 提言者研修会に係る本部井部事務局長とのやり取りについて

実行委員長・副委員長・研究部長・事務局長・事務局次長 様

標記の件について、本日(10月7日午前中)電話でやり取りしましたので、結果について報告します。

### 1 点目: リモートでの研修会について

このことについては、東京在住の方はもとより、提言者の中にも他県への移動に制限があるようで、戻ってきたら2週間の自宅待機をさせられるため、一堂に会しての研修会は困難とのことでした。

そこで、リモートによる研修会の提案をされたとのことでした。

### 2 点目: 佐賀大会実行委員会としての対応

佐賀県でリモートによる研修会が可能かどうかについては、私の方から、①セキュリティ対策のため、校務用のパソコンが使えないこと、②10の分科会に分かれて会議をできるような会場が確保できないということから実現が難しいことを伝えました。

井部事務局長も了解されました。

### 3 点目: 大会当日の分科会を充実したものにするための対応

そこで、佐賀県としては、提言者研修会の主たる目的である ①提言内容をより質の高いものとし、②分科会の運営について分科会関係者全員が共通理解し、深みのある協議とするために、次のような提案をしました。

リモート研修会に代わるものとして、事前に提言原稿及びプレゼン用のパワーポイント原稿、並びに、分科会の趣旨や協議の柱、分科会の進め方等について、関係者にメールで送信し、その後、意見を集約し、実行委員会で検討後に、再度送信して共通理解を図っていくことを伝えました。

また、その後、各分科会での詳細な打合せについてもメールでのやり取りをしていきたい旨を話しています。

井部事務局長からは基本的には了解してもらいましたが、会長にも佐賀県の意向を伝えて、また連絡することでした。

それとは、別に各分科会に分かれてのリモートでの研修会は無理ならば、前半の全体形式で行う本部研究部長や佐賀県の山口研究部長からの分科会に趣旨や運営についての話の部分だけでもリモートでは行えないかという話がありました。

この前半の部分であれば、婦人会館の事務局でできますので、検討させてくださいとお答えしています。

以上ご連絡申し上げます。

このことについては、13日の拡大運営委員会でも伝えます。

務局長 貞包

事



## 全公教佐賀大会関係文書等の今後のスケジュール

項 目	最終締め切り
分科会指導助言者への依頼	1月末・5月下旬
第2次ご案内の発送	2月末
参加者要請数決定	3月末
教育懇談会の案内	4月初旬
来賓臨席・祝辞・写真等依頼	4月上旬
提言者最終原稿提出	4月下旬
提言者最終原稿電子データ提出	4月下旬
提言者プレゼン用パワーポイントデータ提出	4月下旬
提言者使用機器調査	4月下旬
運営要項案提出	5月末
参加申し込み提出	5月下旬
参加者名簿完成・印刷	6月下旬
提言者補助資料及びその電子データ提出	7月上旬
大会要項完成	7月中旬
礼状発送	8月10日前後

提言者提出物一覧表

(例: 滋賀大会の場合)

	提出期限	提出先	備考(提出方法)
<p>提言原稿(紙ベース) (提言者研修会以後訂正したもの)</p>	<p>4月26日(金)</p>	<p>〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目4-15 教育会館内 滋賀県小中学校教頭会事務局(全公教滋賀大会実行委員会) TEL 077-525-1011 FAX 077-521-7345 e-mail shiga-25@estate.ocn.ne.jp</p>	<p>郵送 A4判 2枚</p>
<p>提言原稿電子データ (提言者研修会以後訂正したもの)</p>	<p>4月26日(金)</p>	<p>〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目4-15 教育会館内 滋賀県小中学校教頭会事務局(全公教滋賀大会実行委員会) TEL 077-525-1011 FAX 077-521-7345 e-mail shiga-25@estate.ocn.ne.jp</p>	<p>メール送信</p>
<p>提言プレゼンテーション パワーポイントデータ (提言者研修会以後訂正したもの)</p>	<p>7月5日(金)</p>	<p>〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目4-15 教育会館内 滋賀県小中学校教頭会事務局(全公教滋賀大会実行委員会) TEL 077-525-1011 FAX 077-521-7345 e-mail shiga-25@estate.ocn.ne.jp</p>	<p>メール送信</p>
<p>使用機器調査</p>	<p>4月26日(金)</p>	<p>〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目4-15 教育会館内 滋賀県小中学校教頭会事務局(全公教滋賀大会実行委員会) TEL 077-525-1011 FAX 077-521-7345 e-mail shiga-25@estate.ocn.ne.jp</p>	<p>FAX</p>
<p>提言補助資料(紙ベース)</p>	<p>別紙参照 補助資料送付について</p>	<p>別紙参照 補助資料送付について</p>	<p>分科会参加者数+50部</p>
<p>提言補助資料電子データ</p>	<p>7月5日(金)</p>	<p>〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目4-15 教育会館内 滋賀県小中学校教頭会事務局(全公教滋賀大会実行委員会) TEL 077-525-1011 FAX 077-521-7345 e-mail shiga-25@estate.ocn.ne.jp</p>	<p>CD又はフラッシュメモリー</p>

佐公教佐実第〇号  
令和〇年〇月〇〇日

分科会企画班・分科会特別企画班  
記録者様

全公教佐賀大会実行委員会  
委員長 小川裕子

第63回全公教研究大会佐賀大会の分科会記録原稿の執筆について（依頼）  
〇〇の候、貴方様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素は、全公教佐賀大会開催のためにご協力いただきありがとうございます。  
さて、大会2日目の分科会の記録について、別紙執筆要領にもとづき記録原稿の執筆を  
お願いいたします。  
なお、記録原稿と併せて、写真のデータの送付も併せてお願いいたします。  
何かとご多用とは存じますが、よろしくお願いいたします。

一行あける

◎ 記録原稿および写真データ提出先

全公教佐賀大会事務局まで電子メールと郵便の両方で報告

※郵送先

〒840-0814

佐賀県佐賀市成章町2-16 佐賀県婦人会館3階

佐賀県公立学校教頭会事務局 宛

※電子メールアドレス

saga@kyotokai.jp

◎ 記録原稿様式（word版 一太郎版）は後日メールで送付いたします。

◎ 提出期限 令和3年8月〇日（〇）必着

## 分科会記録原稿執筆要領②

### I 表記

(ヘッダー表記) 第○分科会 研究協議

研究主題 ○○○○○○○○○○○

サブテーマ ○○○○○○○○○○○

提言者 ○○県○○市(地区・町)教頭会  
○○市立○○学校 ○○ ○○

協議の柱・・・・・・・・・・・・・・

2 グループ討議・・・・・・・・・・・・

1 質疑応答・・・・・・・・・・・・

3 指導助言・・・・・・・・・・・・

### II 原稿への依頼事項

#### 1 質疑応答について

(1) 質疑と応答それぞれに内容を簡潔にまとめる。ない場合は、「○なし」と記述する。

#### 2 グループ討議について

(1) 協議報告について出された意見の内容を簡潔にまとめる。

#### 3 指導助言について

(1) 指導者の助言の内容は、執筆量を取り、具体的にわかるように記述する。

#### 4 記録原稿の内容確認と校正

(1) 必要に応じて、記録者に連絡を取り、内容確認および原稿の書式や表記、誤字脱字等について校正をします。

#### 5 記録原稿提出について

提出方法 下記提出先に電子メールおよび郵送で提出してください。

電子メールの件名は、

【全公教佐第○分科会記録 ○○市立○○○学校 ○○○○】とする。

原稿の締め切り日 令和3年8月○日(○) 必着

#### 原稿提出先

〒840-0814 佐賀県佐賀市成章町2-16 (佐賀県婦人会館3階)

TEL/FAX 0952-24-8669

E-mail [saga@kyotokai.jp](mailto:saga@kyotokai.jp)



研究主題

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

サブテーマ

-○○○○○○○○○○○○○○○○○○-

○○県○○市教頭会

○○市立○○○学校 ○○ ○○

2 グループ討議

協議報告①

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

協議の柱

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
・

1 質疑応答

◎○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

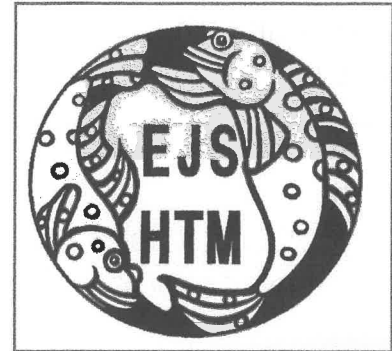
協議報告②

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[ここに入力]

## 目 次

■開催要項	1
■開会行事	2
全国公立学校教頭会会長挨拶	5
佐賀大会実行委員会委員長挨拶	6
文部科学大臣祝辞	7
佐賀県知事祝辞	8
佐賀市長祝辞	9
全国連合小学校長会会長祝辞	10
■基調提案	11
■全体シンポジウム	12
■分科会提言テーマ一覧	14
■分科会指導助言者	16
■分科会	
第1分科会	18
第2分科会	26
第3分科会	32
第4分科会	38
第5分科会	44
第6分科会	52
特別課題分科会	55
■記念講演	62
■閉会行事	
■主催者挨拶	64
■次期開催県挨拶	65
■佐賀大会を振り返って	66
■佐賀大会アンケート結果	67
■集録 HP 案内	71



ここにマークの説明を入  
れます。

1 A④+ 1 B④

⑥

⑥

⑥

5 A④+ 5 B④

③

特 I ④+特 II ③

年次別にみた研究大会一覧

# 記念講演 司会・進行・アナウンス（案）

8月5日（木）

※〇の役職が担当でよいか要確認

8:30	係打合せ	総務部記念講演担当	段取り最終確認 会場最終確認 *パソコン、プロジェクター スクリーン、おしぼり ペットボトル、花束
9:00	講師出迎え	総務部長 渉外部長	講師出迎え（佐賀駅へ？） タクシー
	講師到着・受付	誘導 総務部長	講師受付 控室へ案内
	講師接待	大会長 実行委員長	講師接待 （総務部員）
9:57	講師舞台袖へ誘導	渉外部長	講師舞台袖へ誘導
10:00	<p>1 開式の言葉 司会者</p> <p>2 講師紹介 総務副部長</p> <p>3 記念講演 演題 「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」 講師 緒方孝市氏（前広島東洋カーブ監督） 聞き手 高木 健氏（佐賀県教育委員会保健体育課係長）</p> <p>4 謝辞 総務部長</p> <p>5 花束贈呈 記念講演班員</p> <p>6 閉会の言葉 司会者</p> <p>7 講師降壇 司会者</p>		
11:29	講師控室へ誘導	渉外部長	講師控室へ誘導
11:35	控室で謝辞	総務部長	接待 謝辞
11:40	講師お見送り	総務部長・渉外部長	タクシー誘導

進行細案・アナウンスシナリオ

時刻	進行	司会進行(シナリオ)
9:57	記念講演案内放送	「記念講演開始のご案内を申し上げます。 引き続き10:00より記念講演を始めさせていただきます。会員の皆様は自席でそのままお待ちください。 また、記念講演中は、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードの設定を再度ご確認ください。 なお、講演中でのカメラ・携帯電話での写真撮影や、講演の録音等をご遠慮ください。」
9:59	講師舞台袖へ誘導	
10:00	開式の言葉	「ただ今から、記念講演を始めます。」
	講師登壇 着席	「講師の緒方孝市様、聞き手の高木健様のご登壇です。大きな拍手でお迎えください。」
	講師紹介	「講演に先立ちまして、総務副部長（ ）より緒方孝市様、高木健様のご紹介をさせていただきます。」  (総務副部長)「それでは、本日の講師としてお招きしております、講師である前広島東洋カープ監督の緒方孝市様、聞き手の高木健様の紹介をさせていただきます。 【紹介文】 それでは緒方様、高木様よろしくお願いたします。」
10:05		記 念 講 演
11:25	謝辞	「緒方様、高木様、素晴らしいお話をいただきましてありがとうございました。ここで佐賀県大会実行副委員長（ ）がお礼の言葉を申し上げます。
11:28	花束贈呈	お礼の気持ちを込めまして、花束をお送りしたいと思います。 「これを持ちまして、記念講演を終わります。今森様どうもありがとうございました。緒方様、高木様のご退席されます。今一度大きな拍手をお願いいたします。」
11:29	閉会・講師退場 控室へ	「皆様ありがとうございました。 これより、閉会行事となります。準備ができますまで、しばらくそのままお待ちください。」



## 全公教佐賀大会運営委員会（10月13日）資料

（総務部 シンポジウム班）

### 1. 進捗状況について

#### ○報告

- ・ シンポジウムの進行計画・会場設営（案）について、作成・検討中。
- ・ 今回の拡大運営委員会の内容も受けて、打ち合わせを行う予定。（10/27）

#### ○質問（各班から出されたもの等）

#### ○伺い（対外的な文書等、別添資料をつけてください）

※今後、運営委員会前に提出していただき、レジメに載せ、時間短縮を図りたいと思います。  
10月2日（金）までにメールで千代田中 福田（[fukuda-hiroshi@education.saga.jp](mailto:fukuda-hiroshi@education.saga.jp)）まで、  
ご提出ください。よろしくお願いいたします。

全公教佐賀大会運営委員会（10月13日）資料

（ 渉外 ） 部（大会渉外）班

1. 進捗状況について

○報告（本部への質問）

- ・現在、各関係者への案内については、本部の方で作成され、提出していただいているため、当班については。今後、その流れに沿って、一時案内などの送付等の準備をすべきか、本部担当者と話し合いを持てたらと考えています。
- ・当日、前日の来賓の行動を把握し、詳しい案内を作成する必要があるのではと考えています。
- ・当日配布するパンフレット等の確認を本部と打ち合わせできたらと考えています。

○質問（各班から出されたもの等）

○伺い（対外的な文書等、別添資料をつけてください）

※今後、運営委員会前に提出していただき、レジメに載せ、時間短縮を図りたいと思います。  
10月2日（金）までにメールで千代田中 福田（[fukuda-hiroshi@education.saga.jp](mailto:fukuda-hiroshi@education.saga.jp)）まで  
ご提出ください。よろしくお願ひします。

全公教佐賀大会運営委員会（10月13日）資料

（ 駐車場担当 ） 部

1. 進捗状況について

○報告

特に、変更等はありません。  
年明けに必要な物品を検討します。

○質問（各班から出されたもの等）

○伺い（対外的な文書等、別添資料をつけてください）

※今後、運営委員会前に提出していただき、レジメに載せ、時間短縮を図りたいと思います。  
10月2日（金）までにメールで千代田中 福田（[fukuda-hiroshi@education.saga.jp](mailto:fukuda-hiroshi@education.saga.jp)）まで  
ご提出ください。よろしく申し上げます。

全公教佐賀大会運営委員会（10月13日）資料

（経理）部 ※西山

1. 進捗状況について

○報告

- ・状況に応じて「予算案」の修正を行っています。
- ・各部班長に、「会場費」として配当している5万円の使用状況について確認中です。

○質問（各班から出されたもの等）

※特にありません。

○伺い（対外的な文書等、別添資料をつけてください）

※今後、運営委員会前に提出していただき、レジメに載せ、時間短縮を図りたいと思います。  
10月2日（金）までにメールで千代田中 福田（[fukuda-hiroshi@education.saga.jp](mailto:fukuda-hiroshi@education.saga.jp)）まで  
ご提出ください。よろしくお願いいたします。



分科会指導助言者・提言者・役員一覧

分科会	会場	室名	課題	指導助言者		提言者			分科会運営班						
				指導助言1	指導助言2	全国	九州ブロック	佐賀	司会者係⑤	記録者	運営責任者係①	会場責任者係②	運営委員(全公教)	運営委員係③	運営委員係④
1A	ガーデンテラス佐賀&マリトピア	3F サウス	教育課程に関する課題	全公教顧問会	学校教育課	益山 隆太 神奈川 横須賀市立 諏訪小学校	藤田 天平 福岡 大野城市立 御陵中学校		内田 和一 佐賀 鳥栖市立 鳥栖中学校	桑原 良太 佐賀 唐津市立 入野小学校	長野 篤志 佐賀 基山町立 基山小学校	黒田 清隆 佐賀 鳥栖市立 鳥栖小学校		江頭 尚子 佐賀 鳥栖市立 弥生が丘小学校	今村 昌治 佐賀 鳥栖市立 麓小学校
1B	ガーデンテラス佐賀&マリトピア	1F ザ・ホワイト		全公教顧問会	学校教育課	小島 義和 福井 敦賀市立 角鹿小中学校	真境名 兼彦 沖縄 北谷町立 北玉小学校			武富 宏樹 佐賀 玄海町立 玄海みらい学園	吉松 恭享 佐賀 唐津市立 竹木場小学校	山崎 康隆 佐賀 伊万里市立 伊万里中学校	江頭 満江 佐賀 伊万里市立 滝野中学校		塩田 洋己 佐賀 伊万里市立 青嶺中学校
2	佐賀市文化会館	1F イベントホール	子供の発達に関する課題	全公教顧問会	東部事務所	井上 俊幸 京都 京都市立 桃山中学校	林 浩也 熊本 芦北町立 佐敷小学校	末次 知子 佐賀 鳥栖市立 田代中学校	日山 亮一 佐賀 鳥栖市立 田代中学校	宮崎 律子 佐賀 唐津市立 高島小学校	森 忠親 佐賀 鳥栖市立 鳥栖西中学校	伊藤 正光 佐賀 唐津市立 西唐津小学校		渡部 泰通 佐賀 鳥栖市立 基里中学校	北村 昭彦 佐賀 鳥栖市立 鳥栖西中学校
3	グランデはがくれ	1F ハーモニーホール	教育環境整備に関する課題	全公教顧問会	東部事務所	森脇 宏 鳥取 米子市立 福生中学校 いずみ分校	田島 久人 鹿児島 鹿児島市立 河頭中学校	浦元 奈美 佐賀 佐賀市立 久保泉小学校	藤原 孝昭 佐賀 佐賀市立 鍋島中学校	野田 経代 佐賀 唐津市立 鬼塚小学校	中村 幸江 佐賀 佐賀市立 西与賀小学校	嶺川 竜一 佐賀 佐賀市立 神野小学校		市丸 俊一 佐賀 唐津市立 納所小学校	松尾 天 佐賀 佐賀市立 若橋小学校
4	グランデはがくれ	2F フラワーホール	組織・運営に関する課題	全公教顧問会	西部事務所	難波 茂伸 北海道 室蘭市立 天神小学校	篠原 光教 宮崎 延岡市立 東海小学校	宮崎 武司 佐賀 武雄市立 武雄中学校	池田 英二 佐賀 武雄市立 武雄中学校	大久保 雅章 佐賀 唐津市立 大良小学校	足立 成美 佐賀 武雄市立 武雄北中学校	富増 晃二 佐賀 武雄市立 山内中学校		土岐 洋二 佐賀 武雄市立 北方中学校	早間 一城 佐賀 唐津市立 田野小学校
5A	マリターレ創世	4F グランデピアツツア	教職員の専門性に関する課題	全公教顧問会	西部事務所	佐藤 公一 岩手 盛岡市立 城東中学校	播本 史貴 長崎 長崎市立 仁田佐古小学校		植松 かおり 佐賀 多久市立 西漢校	田代 豊樹 佐賀 唐津市立 成和小学校	江島 静佳 佐賀 鹿島市立 北鹿島小学校	日高 裕子 佐賀 嬉野市立 吉田小学校		池田 直人 佐賀 嬉野市立 塩田小学校	小野 美和 佐賀 鹿島市立 鹿島小学校
5B	マリターレ創世	4F グランデピアツツア		全公教顧問会	北部支所	中島 佳史 高知 香美市立 大宮小学校			杠 幸世 佐賀 みやき町立 中原中学校	堤 孝二 佐賀 佐賀市立 城東中学校	渡邊 英博 佐賀 唐津市立 浜崎小学校	城野 文雄 佐賀 みやき町立 北茂安中学校	高添 健介 佐賀 唐津市立 大志小学校		衛藤 拓典 佐賀 みやき町立 三根中学校
6	ガーデンテラス佐賀&マリトピア	4F ザ・テラス	副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題	テーマ 講師 担当:全公教総務部・研究部					原 徹也 佐賀 佐賀市立 松梅校	馬原 俊浩 佐賀 唐津市立 平原小学校	富永 和重 佐賀 鳥栖市立 鳥栖北小学校	原 良一 佐賀 鳥栖市立 田代小学校		松尾 尚子 佐賀 鳥栖市立 基里小学校	井手 崇雄 佐賀 鳥栖市立 旭小学校
特別I	ガーデンテラス佐賀&マリトピア	3F グランドII	特別課題	テーマ 講師 担当:全公教研究部					熊谷 智佳子 佐賀 佐賀市立 北山校	真島 祥子 佐賀 唐津市立 北波多小学校	豆田 幸彦 佐賀 佐賀大学教育学部 附属小学校	吉田 まりか 佐賀 佐賀市立 富士小学校		松尾 貞子 佐賀 佐賀市立 新栄小学校	西山 恵美 佐賀 佐賀市立 鍋島小学校
特別II	佐嘉神社記念館	3F 清明	特別課題	テーマ ①ICTを活用した業務改善に向けての教頭の役割と指導性 ②人事評価制度を活用した人材育成のための教頭の役割と指導性 講師 ①武雄市教育委員会新たな学校づくり推進室教育監 徳永 貞康 ②佐賀市立本庄小学校校長 富吉 猛 担当:佐賀県実行委員特別分科会企画班長 畑瀬 穰					益田 宏 佐賀 伊万里市立 郷学館	庭木 繁久 佐賀 唐津市立 切木小学校	高木 淑文 佐賀 伊万里市立 立花小学校	横岳 一清 佐賀 伊万里市立 山代西小学校		中尾 恵子 佐賀 伊万里市立 伊万里中学校	永元 正幸 佐賀 伊万里市立 山代中学校